

加須市地域福祉計画（第2次）・
地域福祉活動計画の進行管理調書
【令和2年度の実績と評価】

令和3年9月

地域さえあいプラン ~ともに生き、ともに支え合うまち かぞ~

目 次

1 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画の状況報告について	1
2 評価基準について	1
3 令和2年度 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画の進捗状況について	3
4 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画進行管理表【令和2年度】	3
5 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画における事業のうち、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたもの	7
6 加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）	
基本目標1 ともに支え合い・助け合う人づくり	8
基本目標2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり	11
基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり	14
基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり	18

加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画の状況報告について

「加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画」（平成29年度～令和3年度）は、これまでの地域福祉分野における取組等を踏まえ、市民一人ひとりが住み慣れた地域で安全・安心に暮らせるよう、「ともに生き、ともに支え合うまち かぞ」という基本理念を掲げ、地域全体が協働して福祉活動に取り組むための指針として、市の「地域福祉計画（第2次）」と、地域福祉推進における民間組織の中心的な担い手である社会福祉協議会が、地域福祉の活動・行動を定める「地域福祉活動計画」とを、一体的に取りまとめ策定したものです。

本計画を総合的・計画的に推進するためには、計画の進捗状況について、定期的に調査・把握し、その達成状況を確認していく必要があります。

そのため、計画策定時に設定した目標値などをもとに、各年度においてその実施状況を確認し、着実な推進を目指していきます。

なお、この報告は、本計画「第5章 計画の進捗管理・評価」に基づき公表するものです。

評価基準について

1 各事業（取組）の達成度評価基準

《評価基準》 事業（取組）の実施状況及び事業実施による効果として、成果指標の達成状況により評価を行う。

評価の区分		達成度評価基準
1	目標を達成	当該年度に実施すべき取組を予定どおり、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 「効果が表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成したものをいう。
2	概ね達成	当該年度に実施すべき取組を円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 「効果が概ね表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の80%以上に達したものを使う。
3	やや遅れている	当該年度に実施すべき取組を行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 「効果が小さかった」とは、成果指標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
4	大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 「効果が表れなかった」とは、成果指標の実績値が目標値の50%未満となったものをいう。
5	未着手	何らかの理由により、事業の着手が出来なかった。
6	コロナによる影響	新型コロナウィルス感染症の影響を受け、事業等の中止若しくは縮小、参加者数等の減少又は施設の休館により、上記の3から5までのいずれかの評価となざるを得なかった。 ※各評価の対象外とする。

2 基本目標レベル（大分類）での達成度評価基準

《評価基準》各事業（取組）の達成度評価の結果を基に、次の評価基準で判定する。

なお、「6 コロナによる影響」とした事業（取組）については、正しい評価をすることが困難なため、達成度評価の事業（取組）の対象外とする。

評価の区分	達成度評価基準
① 計画どおり達成できた	基本目標に係る全ての事業（取組）において達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」であった。
② 概ね達成できた	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が80%以上であった。
③ やや達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が80%未満であった。
④ 達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が50%未満であった。

3 計画全体の成果判断基準

《評価基準》基本目標レベル（大分類）の達成度評価の結果を基に、次の評価基準で判定する。

評価の区分	成果判断基準
A 非常に成果があった	全ての数値目標が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなされる場合。 「大いに成果が得られたとみなせる」とは、設定した全ての数値目標の実績値が目標値を100%以上達したものという。
B 相当程度成果があった	一部の数値目標が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合。 「概ね成果が得られたとみなせる」とは、数値目標の実績値がいずれも目標値の80%以上達したものという。
C 成果があった	数値目標の達成状況は芳しくなかったものの、取組として前進したとみなせる場合。 「数値目標の達成状況は芳しくなかった」とは、数値目標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
D 成果がなかった	数値目標の実施直に大幅な乖離があり、取組として前進したとは言い難い場合。 「数値目標の実績値に大幅な乖離がある」とは、数値目標の実績値がいずれも目標値の50%未満となったものをいう。

令和2年度 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画の進捗状況について

加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画は、市が市民と協働して、地域で行う取組の方向性や基本的な考え方を示し、今後、施策を展開、推進していく上での基本的事項を定める役割を担うとともに、地域の人々が抱えているさまざまな福祉課題を地域全体の問題としてとらえ、皆で支え合い、学び合いながら、その人らしく住み慣れた地域で暮らさせることを目指して、地域、行政、関係機関・団体と連携しながら、各種の地域福祉活動を展開していくための指針となっています。

本計画期間の4年目である令和2年度は、「目標を達成した事業」及び「概ね達成した事業」は、計画内事業全体の約66.7%という結果になりました。

そのほかの約33.3%は「やや遅れている事業」及び「大幅に遅れている事業」であることから、今後十分な成果が得られるよう、懇話会委員の皆さんなどから広く意見をうかがいながら、更なる事業の推進を図ってまいります。

加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画進行管理表【令和2年度】

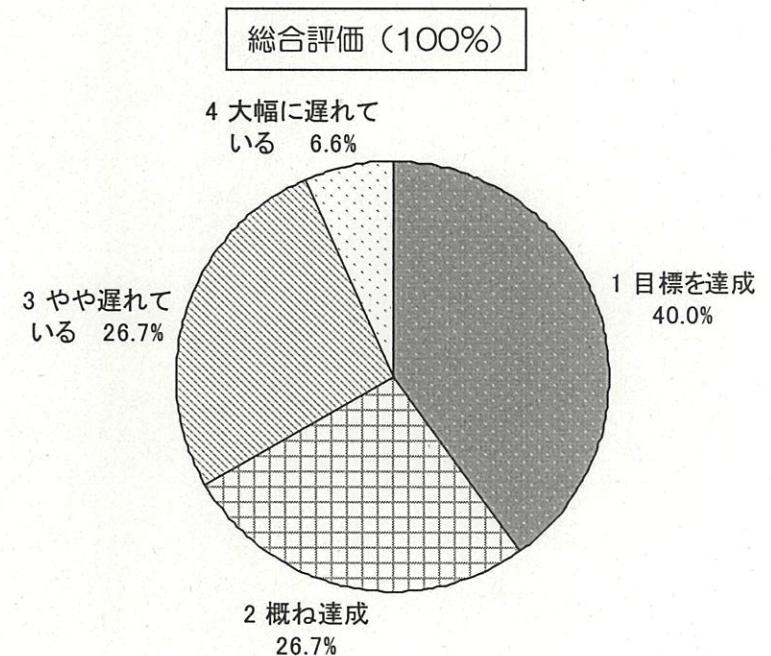
1 評価結果の概要 評価基準の評価区分ごとの事業等の数、割合は次のとおり。

〈評価区分ごとの事業等（全26項目）〉 ※評価の区分「6コロナによる影響」となった事業等は、評価対象外とする。

施策	令和元年度の評価		令和2年度の評価		対象数	1 目標を達成	2 概ね達成	3 やや遅れている	4 大幅に遅れている	5未着手	【参考】 6 コロナ
	基本目標 レベル評価	「1 目標を達成」 及び「2 概ね達成」 の割合	基本目標 レベル評価	「1 目標を達成」 及び「2 概ね達成」 の割合							
基本目標1【ともに支え合い・助け合う人づくり】	③やや達成できなかった	66.6%	③やや達成できなかった	50.0%	2	1	0	0	1	0	4
				50.0%		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%		
基本目標2【健やかにいきいきと暮らせるまちづくり】	④達成できなかた	16.7%	④達成できなかた	0.0%	2	0	0	2	0	0	4
				0.0%		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
基本目標3【安心して暮らすことができるまちづくり】	③やや達成できなかった	71.4%	③やや達成できなかった	66.6%	6	2	2	2	0	0	1
				33.3%		33.3%	33.3%	0.0%	0.0%		
基本目標4【福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり】	③やや達成できなかった	71.4%	①計画どおり達成できた	100.0%	5	3	2	0	0	0	2
				60.0%		40.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
全 体					15	6	4	4	1	0	11
						40.0%	26.7%	26.7%	6.6%	0.0%	

2 総合評価

区分	該当項目数	割合 (%)	総合評価
1 目標を達成	6	40.0	
2 概ね達成	4	26.7	
3 やや遅れている	4	26.7	C 成果があった
4 大幅に遅れている	1	6.6	



3 各取組項目の取組結果等

事業ごとの取組内容等については、次ページ以降のとおり。

基本目標	基本施策	目標指標名	進捗状況					事業名
			達成	概ね達成	やや遅れ	大幅遅れ	0時影響	
1 ともに支え合いづくり	1 地域福祉の意識の向上	市民学習力レッジの受講者数					●	市民学習力レッジ事業
		地域福祉及び社協会員増強に関する懇談会の開催回数					●	会員増強事業
	2 地域の担い手の育成	ボランティア体験プログラム参加者数					●	ボランティア体験学習事業
		「就学前子育て支援講座、親の学習講座、家庭教育学級」の延べ参加者数					●	家庭の学びと地域の絆推進事業
	3 地域活動・ボランティア活動等の充実	地域市民活動団体数	●					地域市民活動促進事業
		地域通貨発行事業・サポーター登録数 (高齢者や障がい者、育児中の方など日常で困っている方をお手伝いする「おたすけサポーター(有償ボランティア)」の登録者数)				●		地域通貨発行による地域福祉サービス支援事業
2 健やかにいるまちづくり	1 健康づくりの支援	体力年齢若返り(筋力アップトレーニング事業における体力測定の結果)					●	筋力アップトレーニング事業
		こころの健康相談利用率 (こころの健康相談利用者数÷こころの健康相談枠数×100)			●			こころの健康づくり事業
	2 地域医療・保健・福祉の体制強化	地域医療連携ネットワークに参加する市民の数			●			地域医療ネットワーク(とねっと)事業
		健康診査受診率((受診者数÷対象者数)×100)					●	後期高齢者健康診査充実事業
	3 スポーツ・レクリエーションの推進	スポーツ教室参加者数					●	スポーツ教室等開催事業
		総合型地域スポーツクラブの設置数					●	総合型地域スポーツクラブ育成事業

	基本施策	目標指標名	進捗状況					事業名
			達成	概ね達成	やや遅れ	大幅遅れ	計 影響	
3 安心して暮らす 暮らしづくりが できるまちづくりが	1 支援を必要とする方の把握と支援	自立支援計画達成率（生活困窮者）			●			生活困窮者自立相談支援事業
		権利擁護講座開催件数	●					権利擁護事業
	2 地域の見守り活動や交流活動の充実	ふれあいサロン設置数	●					ふれあいサロン事業
		敬老会参加率					●	敬老会開催事業
	3 防災・防犯体制・交通安全対策の推進	自主防災組織の組織率 (加入世帯数／組織されている地域の世帯数×100)		●				自主防災活動組織育成・支援事業
		自主防犯組織の組織率（自治協力団体数ベース）		●				自主防犯活動組織育成・支援事業
		公立小学校における子ども自転車運転免許事業の実施率 公立中学校における中学生交通安全講習会の実施率 参加・実践型の高齢者交通安全教室の参加者数			●			交通安全啓発事業
4 福祉やサービス組みづくり	1 相談支援・情報提供の充実	各相談支援事業所への相談件数（加須市民）					●	障害者相談支援事業
		市のホームページの月平均閲覧件数		●				ホームページ・SNS活用事業
	2 高齢者、障がい者、子育て支援サービス等の充実	民間保育所定員数	●					民間保育所運営委託事業
		公立保育所入所待機児童数	●					公立保育所管理運営事業
		産後支援ヘルパー派遣事業利用者実人数					●	産後支援ヘルパー派遣事業
	3 地域福祉の仕組みづくり	地域ケア個別会議の開催回数	●					地域ケア会議推進事業
		地域ブロンズ会議（第2層）の設置区域数（累計）		●				地域ブロンズ会議事業
			6	4	4	1	11	

加須市地域福祉計画(第2次)・地域福祉活動計画における事業のうち、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたもの

■次の3から5までの評価をした事業であって、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの評価については、⇒「6コロナによる影響」の評価項目とする。
 (各事業の達成度評価基準) 3やや遅れている 4大幅に遅れている 5未着手

■新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業数 … 11事業 (基本目標1 - 4事業 基本目標2 - 4事業 基本目標3 - 1事業 基本目標4 - 2事業)

■新型コロナウイルス感染症による影響 (1イベント・調査等未実施 2イベント・講座等縮小・休館 3参加者・利用者数の減)

評価には結びつかなかったものの、他の代替対応や縮小しながらも事業展開を図った内容

基本目標	基本施策	事業No.	事業名	課名	R2評価	評価指標	【コロナによる影響】間接的要素を含む 1 イベント・調査等未実施 2 イベント・講座等縮小・休館 3 参加者・利用者数の減	代替・縮小対応内容 関係団体等との連携
1	1	1	市民学習カレッジ事業	生涯学習課	4	市民学習カレッジの受講者数	1 イベント・調査等未実施	講座企画等・企画委員の活用
1	1	2	会員増強事業	社会福祉協議会	4	会員増強に関する懇談会の開催回数	2 イベント・講座等縮小・休館	中止または参加人数の減少による対応
1	2	3	ボランティア体験学習事業	社会福祉協議会	3	ボランティア体験プログラム参加者数	2 イベント・講座等縮小・休館	中止または開催回数を減らし、実施期間の延長により対応
1	2	4	家庭の学びと地域の絆推進事業	生涯学習課	4	講座等への延べ参加者数	2 イベント・講座等縮小・休館	開催回数を減らし、実施期間の延長により対応
2	1	7	筋力アップトレーニング事業	いきいき健康長寿課	5	体力年齢若返り(歳)	1 イベント・調査等未実施	・修了生への後方支援 ・家庭でできるエアロビクス動画作成、YouTube配信
2	2	10	後期高齢者健康診査充実事業	いきいき健康長寿課	3	健康診査受診率	3 参加者・利用者数の減	実施期間の延長
2	3	11	スポーツ教室等開催事業	スポーツ振興課	4	スポーツ教室参加者数	2 イベント・講座等縮小・休館	中止または参加者数の減少による対応
2	3	12	総合型地域スポーツクラブ育成事業	スポーツ振興課	4	総合型地域スポーツクラブの設置数	2 イベント・講座等縮小・休館	関係団体等の調整
3	2	16	敬老会開催事業	社会福祉協議会	4	敬老会参加率	1 イベント・調査等未実施	社協支部役員、民生委員等の協力により敬老記念品を贈呈
4	1	20	障害者相談支援事業	障がい者福祉課	3	各相談支援事業所への相談件数	3 参加者・利用者数の減	
4	2	24	産後支援ヘルパー派遣事業	子育て支援課	3	産後支援ヘルパー派遣事業利用者実人数	3 参加者・利用者数の減	

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標1 ともに支え合い・助け合う人づくり

基本施策1 地域福祉の意識の向上

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標1 ともに支え合い・助け合う人づくり

基本施策2 地域の担い手の育成

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和2年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等			
3	ボランティア 体験学習事業	【目的】 ボランティア体験学習や講座を通し、福祉に対する理解と関心を深め、思いやりの心を持つて助け合う態度を育て、共に生きる人間の育成を目指す。	・対象：小学生から大人まで夏の「ボランティア体験事業」を実施。 ・通年講座として傾聴講座やこころの健康講座（対象者：小学生～大人）を実施。	6 ・コロナによる影響	指標(単位)	ボランティア体験プログラム参加者数 (人)							・本事業は、夏休みを中心に行なっている講座と通年講座の2つに分けられる。夏休みの講座は、児童・学生の参加が多く盛況であるが、社会人やシニア世代が中心の通年講座は、新規参加者がなかなか増えない。 ・ボランティア団体の後継者が不足しているなど、改善の必要がある。 ・全世代が、それぞれの立場で活躍できる魅力的な活動や講座を取り入れる中で、通年講座の充実発展を図っていただきたい。 ・コロナ禍でも実施できる独自プログラムを引き続き考案していただきたい。		
	社会福祉協議会	【概要】 ボランティア体験、育成、研修の実施。	※新型コロナウイルスの影響により以下の事業を中止した。 ・こころの健康講座 ・ボランティア団体学習会 ・ボランティア団体研修会 ・双葉町とのボランティア交流会		年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)				
					目標	—	300	300	300	300	300				
					実績	—	433	495	436	194					
					【評価の理由】 県全域で取り組んでいる事業で、県社協でもポスターやチラシを作成し県内の公立学校に配布する等、児童・学生の積極的な参加を促してきた。当年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりプログラム数が例年の3分の1に減少。担当者間でコロナ禍でもできる独自プログラムを検討し、四つ葉のクローバーを使ったボランティアプログラムを実施。また、実施期間も例年8月末までのところを9月末まで延長し実施した。その結果、予想よりも多くの方に参加していただいた。通年の講座もいくつか中止になつたため、昨年度よりも参加人数は減少している。										
	家庭の学びと 地域の絆推進 事業	【目的】 家族・地域の絆づくりの一層の推進のため、「家庭の教育力」と「地域の教育力」の向上を図る。	・絆啓発講座「就学前子育て講座」「親の学習講座」「家庭教育学級」の内容充実実施（各公民館、各文化・学習センター） ・市民まつり等のイベントを活用した絆運動PR ・関係団体との連携によるポケットティッシュの配付 ・加須市あいさつ運動 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、徹底した3密対策の上で、アドバイザー派遣を前提に事業精査中。		指標(単位)	「就学前子育て支援講座、親の学習講座、家庭教育学級」の延べ参加者数 (人)							・各学校において、家庭教育講座の講師として、家庭教育アドバイザーかぞ「teとte」を活用いただきよう周知する。 ・新しく家庭教育アドバイザーになった方へ、家庭教育アドバイザーかぞ「teとte」の加入のための働きかけを行っていく。 ・地域により、実施内容が異なるため、実施内容の統一を図る。		
	生涯学習課	【概要】 ・家族や地域の絆を深めるために「就学前子育て講座、親の学習講座、家庭教育学級」を子育て中の保護者を対象に開催するなど、子どもと親の育ちを応援する学びの機会を充実する。 ・関係団体と連携して絆づくり啓発品を配付しながらあいさつ運動を継続する。			年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)				
					目標	—	2,065	2,115	2,165	2,215	2,265				
					実績	—	2,059	1,989	2,085	431					
					【評価の理由】 新型コロナウイルス感染防止対策のため、事業計画よりも回数を減らして開催し、家庭教育を推進した。										

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標1 ともに支え合い・助け合う人づくり

基本施策3 地域活動・ボランティア活動等の充実

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

基本施策1 健康づくりの支援

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和2年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等		
7	筋力アップ トレーニング 事業	【目的】 生活習慣病予防と介護予防の視点を充実させ、医療費の削減効果を目的とし、健康でいきいきと暮らすことができる健康長寿社会を目指す。	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事業実施を中止 ・修了生が自主活動グループで活動を継続できるよう巡回支援を実施（家庭でできる運動としてエアロビクス動画を作成、配信）	6 ・コロナによる影響 6 ・コロナによる影響	指標(単位)	体力年齢若返り (筋力アップトレーニング事業における体力測定の結果) (歳)							・参加者が記録する内容に食事や生活習慣に関する項目を増やし、生活習慣の目標を明確にし、目標の達成度を数値化することで、より具体的な個別支援を実施していく。 ・修了者の7割以上が自主グループへ移行できるように支援していく。	
	いきいき健康長 寿課	【概要】 ・概ね50歳以上の参加希望者に対し、筋トレ健診による運動可否の判定を行い、運動が可能な方を対象に体力測定を実施する。 ・個別運動プログラムに基づき、筋力トレーニングとエアロバイクなどの有酸素運動を取り入れたトレーニングを週1回開催する。 ・筋トレ修了生の後方支援を実施する。			年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)			
					目標	—	9	9	9.5	10	10			
					実績	—	7.1	9.3	7.5	0				
					【評価の理由】 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事業を実施できなかった。そのため、家庭でもできる運動としてエアロビクス動画を作成し、動画投稿サイトYou Tubeで配信した。また、修了生が自主活動グループの活動を継続できるよう各グループへの巡回支援を実施した。									
	こころの健康 づくり事業	【目的】 市民が心身ともにより健康的な生活を送ることができるよう、心の健康づくりを推進し、精神疾患や自殺の予防を図る。	・こころの健康相談の実施（精神科医師や公認心理師による相談） ・市民相談室と連携し、合同相談日に公認心理師による相談の実施 ・自殺予防に関する啓発（ゲートキーパー研修等） ・こころの体温計の実施 ・こころの健康相談等の広報・周知 ・加須市自殺対策計画の進行管理		指標(単位)	こころの健康相談利用率 (こころの健康相談利用者数÷こころの健康相談件数×100) (%)							・今後も市報等で周知し、希望者が相談できる体制を維持する。	
	健康医療推進課	【概要】 ・精神科医師、公認心理師へ相談する機会を提供する。 ・自殺予防に関する啓発を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携し訪問指導を実施する。			年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)			
					目標	—	65	70	75	80	80			
					実績	—	51	47	50	61.9				
					【評価の理由】 市のホームページにこころの体温計の掲載を継続するとともに、手軽に利用できるよう個人用携帯端末にダウンロードできる仕様とし、こころの健康づくりへの意識づけに努めるとともに、こころの健康相談の周知に努めた。 しかし、平成30年度及び令和元年度と比較し利用率は増加しているものの、目標値に達しなかったため。									

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

基本施策2 地域医療・保健・福祉の体制強化

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和2年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等							
9	地域医療 ネットワーク (とねっと) 事業	【目的】 地域の限られた医療資源を効率的・効果的に活用し、中核病院と病院・診療所が医療情報を共有することで、市民へ質の高い医療サービスを提供でき、地域全体で市民の医療を完結する「地域完結型医療」を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> 協議会事務局費の負担 協議会事務局の支援 県及び中核病院との連携による圏域外住民・医療機関を含めた参加促進 システムの普及・啓発 国のデータヘルス改革の進捗等の確認 	3 ・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)		地域医療連携ネットワークに参加する市民の数 (人)												
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)								
	健康医療推進課				目標	—	17,950	20,300	22,650	25,000	25,000								
					実績	—	13,384	13,975	14,469	14,824									
					【評価の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響により、中核病院等での普及活動が実施できなかったことや、患者の受診抑制等があったなかで、広報紙、ホームページ上でのお知らせや、ポスターの掲示などを推進し、参加者の増加を図ったが、目標を達成することはできなかった。														
					【評価の理由】 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の影響で開始時期を遅らせ、終了時期を延ばしたが、受診率が目標値に達しなかったため。														
					【評価の理由】 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の影響で開始時期を遅らせ、終了時期を延ばしたが、受診率が目標値に達しなかったため。														
10	後期高齢者健康 診査充実事業	【目的】 後期高齢者医療保険に加入する市民の病気を予防するため健康診査を実施し、受診者の健康維持に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者健康診査の実施（自己負担なし） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言中は健診受診を見合わせるよう国より通知があったため、例年5月から12月までの健診期間であるが、令和2年度は6月1日に通知を発送し、2月末までの健診期間とした。 	6 ・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)		健康診査受診率 ((受診者数÷対象者数) × 100) (%)							・高齢者の特性を把握するための質問票に変更し、高齢者のフレイル予防に対する関心を高め、生活改善を促していく。					
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)								
					目標	—	29	31	33	35	35								
					実績	—	25.4	24.8	27.1	25.7									

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

基本施策3 スポーツ・レクリエーションの推進

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和2年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等						
11	スポーツ教室等 開催事業	【目的】 スポーツへの関心を高め、ス ポーツ参加機会の拡充を図る。	市民のスポーツへの関心 を高めるためスポーツ教 室を開催 ・ピラティス教室 ・カヌー＆ヨット教室 ・体験型ニュースポーツ 教室（フロアカーリン グ・ディスコン） ・親子硬式テニス教室 ・クライミング教室 ・Jrクライミング教室 その他予定していた8教 室はコロナウイルス感染 拡大防止のため中止。	6 ・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)		スポーツ教室参加者数 (人)					コロナ禍での教室のあり 方を検討する。 また、教室の種類、募集 方法、時期なども検討 し、引き続き、市民が参 加しやすい教室を開催す ることにより市民のス ポーツの関心を高める。						
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)							
	スポーツ振興課				目標	—	840	860	880	900	920							
					実績	—	677	626	509	126								
					【評価の理由】 新型コロナウイルス感染症対策により、予定していた7教室（小学生水泳 教室、後期Jrクライミング教室、後期クライミング教室、スポーツ吹矢、 小学生スキー教室、NEWスポーツなんでもアリーナ・Do You ! スポー ツミックス、児童バレーボール教室）が中止となった。開催した6教室に ついては、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで行ったが、目 標値には達しなかった。													
					指標(単位)		総合型地域スポーツクラブの設置数 (クラブ)											
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)							
	12	総合型地域 スポーツクラブ 育成事業			目標	—	3	3	4	4	4							
					実績	—	2	2	1	1	1							
					【評価の理由】 平成31年3月に「みずわスポーツクラブ」の解散後、クラブ数は、「FC KAZO」1クラブであり、新型コロナウイルス感染症の影響により会員数 が減っているが活発に活動している。 平成国際大学が新たなクラブの設立に向けて進めているが、コロナ禍によ り進捗が遅れているため。													

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり

基本施策1 支援を必要とする方の把握と支援

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり

基本施策2 地域の見守り活動や交流活動の充実

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和2年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等		
15	ふれあいサロン事業	【目的】 高齢者が身近な場所で仲間と交流できる場を提供し、おしゃべりや運動の機会を増やすことで、閉じこもりや認知機能の低下を予防する。	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、サロン活動の自粛を要請 ・新規ふれあいサロンの開設と把握、民間施設の活用 ・高齢者相談センター等担当者との打ち合わせの実施	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	ふれあいサロン設置数 (箇所)							<ul style="list-style-type: none"> ・サロン活動の再開に向け、高齢者相談センター、介護予防センター、健康づくりセンター、サロン代表者等と連携していく。 ・保健事業と介護予防の一体的な実施による医療専門職の支援により、フレイル予防の普及啓発活動や運動・栄養・口腔等のフレイル予防の健康教育や健康相談を行う。 ・サロンの継続的な活動を支援する（集会場借上料一部負担）。 ・介護予防センター及び健康づくりセンターへの謝金支払。 	
	いきいき健康長寿課	【概要】 ・介護予防センターと地域と協働し、高齢者の仲間作りや活動の場を提供する。	・介護予防センター及び健康づくりセンター会議の実施		年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)			
					目標	—	97	101	105	110	115			
					実績	—	108	114	122	122				
16	敬老会開催事業	【目的】 高齢者の長寿を祝い、健康な高齢者の維持と生きがいの醸成を図る。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者が一堂に会する式典は中止。 ・対象者全員へ敬老記念品を社協支部役員をはじめ、民生委員児童委員等の協力を貰い、贈呈（配布）をした。 ・対象者は以下のとおり。 加須地域 8,836名 騎西地域 2,770名 北川辺地域 1,837名 大利根地域 2,165名	6 ・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	敬老会参加率 (%)							<ul style="list-style-type: none"> ・対象者が毎年増え続けており、会場の確保や市補助金も含め、現在の実施形態を存続できるか懸念がある。 ・主催する社協支部からも、事業の見直しも含め、多くの意見をいただいている。 	
	社会福祉協議会	【概要】 社会福祉協議会主催の敬老会に対し、補助金を交付し、各地域において敬老会を実施する。			年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)			
					目標	—	77.1	77.1	77.1	77.1	77.1			
					実績	—	59.6	60.2	62.7	0				
					【評価の理由】 本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により式典を中止にしたため、敬老会の参加率は0%となつたため。									

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり

基本施策3 防災・防犯体制・交通安全対策の推進

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり

基本施策3 防災・防犯体制・交通安全対策の推進

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和2年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等								
19	交通安全啓発事業	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 市立小学校4年生を対象に、子ども自転車運転免許事業を実施した。 実施時期：10～11月 対象児童数：973人 市立中学校1年生を対象に、中学生交通安全講習会を実施した。 実施時期：10～12月 対象児童数：963人 例年、高齢者を対象に、参加・実践型の高齢者交通安全教室を開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施を見合わせた。 中止となった敬老会の対象15,608人に、敬老会の記念品と合わせて交通安全啓発チラシを配布したほか、防犯研修会等各地域のイベントにおける交通安全啓発を実施した。 	3 ・や や 遅 れ て い る	指標①(単位) 市立小学校における子ども自転車運転免許事業の実施率 (%)								・引き続き、市立小学校・加須警察署・各交通安全団体と連携し、小学生の交通事故を防止するため、子ども自転車運転免許事業を実施する。							
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)		・引き続き、市立中学校・加須警察署・各交通安全団体と連携し、中学生の交通事故を防止するため、中学生交通安全講習会を実施する。							
					目標	—	100	100	100	100	100		・参加・実践型高齢者交通安全教室の参加者募集方法や教室の実施内容などについて検討し、より多くの参加者を募集できるように改善する。							
					実績	—	100	100	100	100	100		・敬老会等各地域のイベントにおける交通安全啓発方法について検討し、効果的な啓発ができるよう改善する。							
					指標②(単位) 市立中学校における中学生交通安全講習会の実施率 (%)															
	交通防犯課				年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)									
					目標	—	100	100	100	100	100									
					実績	—	100	100	100	100	100									
					指標③(単位) 参加・実践型の高齢者交通安全教室の参加者数 (人)															
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)									
					目標	—	225	225	225	225	225									
					実績	—	185	169	147	0										
【評価の理由】																				
【指標①「1. 目標を達成」】																				
・市立小学校4年生を対象に、各交通安全団体と協働し、子ども自転車運転免許事業を実施できた。																				
なお、今年度に限り、家庭での継続的な指導により、実技試験を代替できる措置が取られたため、実技試験を実施したのは9校のみである。																				
【指標②「1. 目標を達成」】																				
・市立中学校1年生を対象に、各交通安全団体と協働し、中学校交通安全講習会を実施できた。																				
【指標③「4. 大幅に遅れている」】																				
・年4回、埼北自動車学校や埼玉県防犯・交通安全課の協力のもと、参加・実践型高齢者交通安全教室を開催していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、実施を見合わせたため。																				
※ 総合評価は、参加・実践型の高齢者交通安全教室の参加者数が、目標値の50%未満であり、高齢者の交通安全の啓発をより推進する必要があることから、「3・やや遅れている」とした。																				

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり

基本施策1 相談支援・情報提供の充実

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり

基本施策2 高齢者、障がい者、子育て支援サービス等の充実

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No.	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和2年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
22	民間保育所等 運営委託事業	【目的】 保育を希望する乳幼児の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援するとともに、保育サービスの充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 保育を希望する乳幼児の保育を市内外の私立認可保育園等に委託 令和2年度も待機児童〇人を達成 適正な給付費の支出 各種加算の認定 教育・保育無償化による制度改正への対応 	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位) 民間保育所定員数 (人)							<ul style="list-style-type: none"> 今後も待機児童数ゼロを維持し、子育て世帯の多様な保育ニーズに対応するため、適正な給付費(委託料)の給付を行う。
	こども保育課 (令和2年度： 保育幼稚園課)	【概要】 ・子育てと仕事の両立を支援するため、保育サービスの充実を図る。 ・子育て家庭に対する就労支援を図るため、保育を希望する乳幼児の保育を民間保育所等に委託し、市内外の私立認可保育園等において保育を実施する。			年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)	
					目標	—	1,531	1,531	1,531	1,531	1,531	
					実績	—	1,531	1,531	1,531	1,531	1,531	
					【評価の理由】 令和2年度の民間保育所定員数は目標どおり1,531人となり、待機児童ゼロも維持し、保育サービスの充実に資することが出来たため。							
23	公立保育所管理 運営事業	【目的】 公立保育所において、保育を必要とする児童の保育を実施し、子育てと仕事の両立への支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育所の運営管理 人権保育推進保育所(騎西)における家庭支援 新型コロナウイルス感染症に対応した保育や環境整備 	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位) 公立保育所入所待機児童数 (人)							<ul style="list-style-type: none"> 施設設備の補修・更新を行い、入所児童が安心して過ごせるよう保育環境を整備する。また、新型コロナウイルス感染症に対応した保育や環境整備を行う。 月途中入所に対応するため、引き続き、広報・HP・新聞広告を活用しながら、会計年度任用職員(保育士)の確保に努める。
	こども保育課 (令和2年度： 保育幼稚園課)	【概要】 ・子育てと仕事の両立を支援するため、公立の保育所において、保育を必要とする〇歳児からの児童の保育を実施。また、安全等に十分に配慮して保育を実施し、仕事を持つ保護者に対する子育てを支援する。 公立保育所の保育時間 第一保育所：こすもす保育園、第四保育所(7:30～18:30) 騎西保育所(7:30～18:30) 北川辺保育所(7:30～19:30) わらべ保育園(7:30～19:30) 第三保育所はR2.4.1～休止中			年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)	
					目標	—	〇人	〇人	〇人	〇人	〇人	
					実績	—	〇人	〇人	〇人	〇人	〇人	
					【評価の理由】 保育を必要とする児童の保育を行うことにより、仕事を持つ保護者に対する子育て支援が図られた。また、令和2年度中、待機児童ゼロを維持することが出来たため。							

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり

基本施策2 高齢者、障がい者、子育て支援サービス等の充実

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり

基本施策3 地域福祉の仕組みづくり

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和2年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
25	地域ケア会議 推進事業	【目的】 介護支援専門員によるケアマネジメントの質の向上を図ることによって、高齢者の自立、要介護状態となることの予防又は要介護状態の重度化の防止を図る。	・各高齢者相談センターにおいて地域ケア個別会議を開催し、支援困難事案の解決及び地域の支援体制を構築 ・自立支援型地域ケア会議を定期開催し、多職種の助言を取り入れ、高齢者の自立に資するケアマネジメントについて検討	1 ・ 目標 を 達 成	指標(単位) 地域ケア個別会議の開催回数 (回)							・高齢者の自立、要介護状態になることの予防又は要介護状態の重度化の防止に向けて、引き続き、各高齢者相談センターが開催する地域ケア個別会議及び市が主催する自立支援型地域ケア会議を通じて、介護支援専門員のケアマネジメントの質の向上及び地域課題の把握・検討に取り組んでいく。
	高齢介護課	【概要】 地域ケア個別会議（市が主催する自立支援型地域ケア会議と高齢者相談センターが主催する地域ケア個別会議）及び地域ケア推進会議を開催する。 地域ケア個別会議の開催を通じて地域課題を把握し、地域ケア推進会議にて検討し、今後の高齢者施策を検討する際の参考とする。			年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)	
					目標	—	40	40	40	40	40	
					実績	—	25	57	74	183		
26	地域プロンズ 会議事業	【目的】 何らかの支援を必要とする高齢者を地域で支え合う仕組みを構築し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにする。	・第1層協議体（市介護保険運営協議会）を開催 ・地域で高齢者を支え合う仕組みづくりについて啓発 ・既存のプロンズ会議の運営支援 ・プロンズ会議の発足支援（加須、礼羽、大桑、騎西、種足、鴻茎、高柳、北川辺、飯積、砂原、北平野） ・プロンズ会議未設置地域の住民に趣旨説明及び意見交換、情報共有	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位) 地域プロンズ会議（第2層）の設置区域数（累計） (区域)							・生活支援コーディネーター及び高齢者相談センターとの連携を一層推進する。 ・既存のプロンズ会議の運営状況を確認し、意見交換及び情報提供を行う。 ・プロンズ会議未設置地域の住民が「やりたい」と思うような情報を整理し、啓発を行う。
	高齢介護課	【概要】 ・地域で高齢者を支え合う仕組みについて検討する地域プロンズ会議の設置の促進及び開催支援を行う。 ・地域ニーズの把握と地域資源のマッチング等を行う生活支援コーディネーターを配置する。 ・介護予防・生活支援サービスの担い手となる高齢者等の養成を行う。 ・地域包括ケアシステムに関する普及啓発を行う。	・社会福祉協議会（生活支援コーディネーター）及び高齢者相談センター（プロンズ会議事務局）と定期的に意見交換及び情報共有		年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (決算)	R3年度 (目標年)	
					目標	—	0	4	10	16	16	
					実績	—	0	2	5	13		